

葵祭の祭礼参加アルバイトについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2026年5月12日)

要望:2024年度まで学内で募集されていた葵祭の祭礼参加アルバイトを再開して欲しい

京大新聞等の報道によると、当局は女性や外国人留学生の参加不可が憲法上の平等原則違反であるとして募集を中止したようですが、葵祭が古代より継承されたる神事であり、そうした伝統の延長線上にある行事である以上は、協議会側の日本人男性以外の参加を認めない方針は許容されるべきであると考えます。また、仮にその実態が違憲状態にあったとしても、そうした当局や一部教員のイデオロギーの如何は、現状(2024年度時点)認められていた日本人男子学生の参加を敢えて妨げ、京都で学生生活を送った者特有の貴重な体験を享受することを阻害することに十分とはいえません。どうか、来年度からは当該募集を再開し、同時並行的に協議会と参加対象範囲の擦り合わせを行なっていただきたくよう切望します。

【回答】(回答日:2026年5月22日)

(回答部署:学務部学生支援課)

葵祭の学生アルバイト募集再開に関するご要望につきまして、以下のとおり回答いたします。

まず、京都に立地する本学としましては、歴史ある伝統行事に学生が参加することは非常に有意義であると認識しており、従前から葵祭保存会側に協力姿勢をとってきました。

しかしながら、保存会側の「女子更衣室がないことによる女性の参加不可」および「留学生の一律参加不可」という募集条件について、コンプライアンス、ジェンダー、人権等の観点から学内で検討した結果、大学として受け入れることはできないと判断いたしました。そこで、当該条件についてコンプライアンス等に適合するよう、保存会側に検討を依頼いたしました。ただ、その後も保存会側の募集条件に変更はなく、保存会側からアルバイト募集を取りやめる旨の連絡を受け、本学としては紹介を行わないこととしました。

本学は保存会側からコンプライアンス等に適合した内容にもとづく募集掲示依頼があった場合には、前向きに検討いたします。